

小学部5年生は、アグアスタイム（総合的な学習の時間）に、メキシコの産業について学習しています。9月14日、トウモロコシ畑を訪問し、オーガニックな農法で花や作物を育てる工夫について学びました。畑では、4匹の犬がネズミを退治し、ニワトリが害虫を食べ、花に集まる蝶が作物の受粉を助けるなど、生き物たちが大切な役割を果たしていました。また、雨水を貯めて散水に利用するなど、環境に配慮した取り組みも見学しました。

さらに、トウモロコシの歴史や種類、メキシコの人々にとっての大切さについても教えていただきました。風の神とアリの友情からトウモロコシが生まれたという伝説や、トウモロコシの皮に包まれた姿がグアダルupesの聖母にまつわる由来の一つとされる話など、メキシコの文化にも触れる貴重な学びとなりました。

